

# 带状疱疹ワクチン接種について

令和7年度より高齢者を対象とした带状疱疹予防接種は予防接種法に基づく定期接種（B類疾病）となりました。定期接種対象者には、接種費用の一部を助成します。

なお、村で令和6年から開始した任意予防接種も引き続き助成を行います。定期接種の対象年齢以外でも50歳以上から接種が可能です。

接種を希望される方は、下記の表から対象年齢になるか確認し、ワクチンの効果や副反応等について十分に理解した上で、医師と相談し接種してください。

過去に任意予防接種の助成を受けた方は対象外です!!

大潟村に住所があり、現在 50 歳以上



- A) 年度内に65歳を迎える方
- B) 60歳以上64歳の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方
- C) 令和7年度から11年度までの5年間の経過措置  
その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳になる方

いずれかに該当しますか

はい



いいえ

	あなたは <b>定期接種</b> の対象です	あなたは <b>任意接種</b> の対象です
予診票	医療機関へ送付しています。定期接種対象者には個別に案内を郵送しています。同封しているハガキサイズの「带状疱疹予防接種済証」を持参してください。	医療機関の予診票を使用してください。
医療機関	秋田県広域予防接種 契約医療機関	大潟村診療所でのみ 接種可能です。
助成回数・費用	生ワクチン 1回 5,000円 組換え(不活化)ワクチン 2回 10,000円/回	

## 【帯状疱疹とは】

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した 水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。帯状疱疹は、70 歳代で発症する方が最も多くなっています。

## 【ワクチンについて】

帯状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換え（不活化）ワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なっていますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

		生ワクチン	組換えワクチン
接種方法		皮下注射	筋肉注射
効果	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後10年時点	——	7割程度の予防効果

## 【副反応】

- ①接種部位の痛み、発赤、筋肉痛、疲労等がみられることがありますが、通常 2～3 日のうちに直ります。また、重大な副反応として、生ワクチンの場合、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎があります。不活化ワクチンの場合、ショック、アナフィラキシーが起こる可能性があります。
- ②予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。接種を希望される方は、ワクチンの効果や副反応等について十分に理解した上で、医師と相談し接種してください。

## 【注意事項】

- ・ 接種を希望される場合は、事前に医療機関へ問い合わせ・予約をした上で接種をお願いします。
- ・ 助成は生涯で1人1度（定期接種か任意接種のどちらか1度）になります。また、ワクチンも選択した1種類のみ助成の対象です。  
過去に任意予防接種費助成を使用して、帯状疱疹ワクチンを接種された方につきましては、原則定期予防接種の対象外になります。

## お問い合わせは

大潟村保健センター TEL. 45-2613  
FAX. 27-8420